

あわらの市の 子どもたち

令和3年度

全国学力・学習状況調査

「全国学力・学習状況調査」は、文部科学省が全国の児童生徒（小学6年生、中学3年生）を対象として行う調査です。児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証しその改善を図ること、また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的とし、平成19年度より実施されています。学力を問う出題だけでなく、児童生徒の学習環境や生活環境の質問紙調査も行われています。

この度、令和3年5月に実施された調査について、本市の結果を公表します。この結果については、調査日時点でのものであること、成長過程の子どもたちの限られた教科（小学校は国語と算数、中学校は国語と数学）の結果であること、また、学習状況の部分的な調査であることをご承知おきください。

本市としましては、教育活動を評価するための一つの資料として有効に活用してまいります。

また、児童生徒の学力の向上には、学校と家庭、地域の連携が欠かせません。今回の結果を通して、三者の連携をより強くしていきたいと考えております。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■調査対象 小学校6年の児童及び中学校3年の生徒

- 調査事項
- 1 教科に関する調査
 - ・小学校：国語、算数 ・中学校：国語、数学
 - 2 質問紙調査
 - ・生活習慣や学習環境に関する質問（小・中学校）
 - 3 今年度の調査の特徴
 - ・知識と活用を一体的に問う問題形式で出題
 - ・例年より1ヶ月程度遅らせて実施



■教科に関するあわらの市の調査結果から

全国・県平均正答率との比較(Pはポイント)

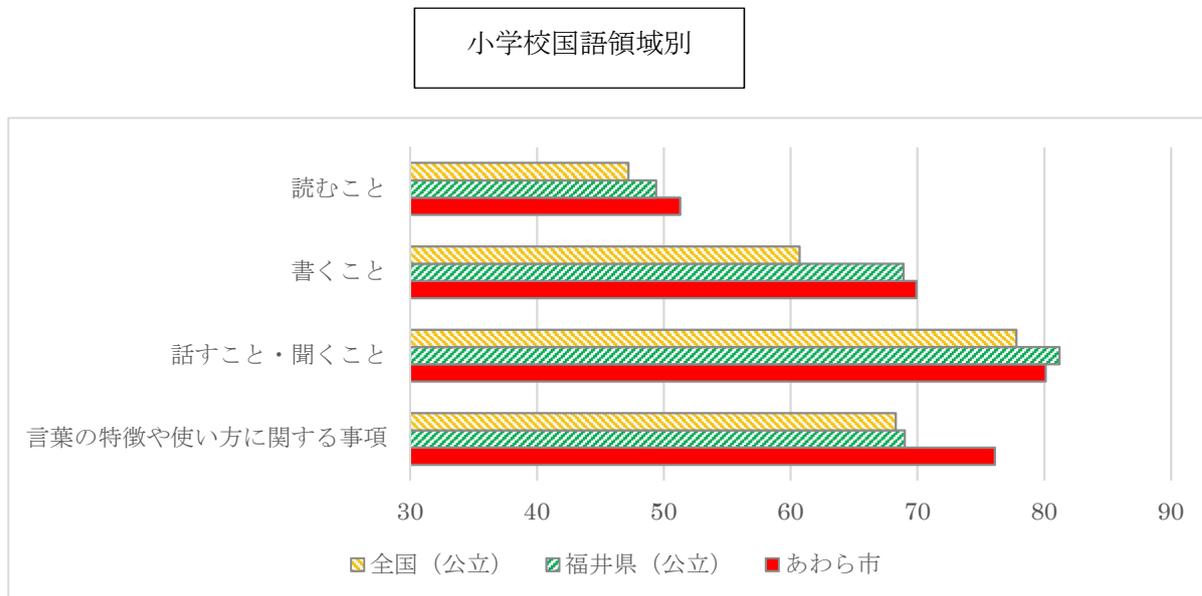
3P以上高い→◎ 0～3P高い→○ 0～3P低い→▽ 3P以上低い→▼

小6	国との比較	県との比較
国語	◎	○
算数	◎	○

中3	国との比較	県との比較
国語	▽	▽
数学	○	▽

【小学校 概要】

小学校の平均正答率は、全ての教科において全国や県の平均を上回っています。
特に、国語においては、下の図のように「書くこと」「読むこと」「書くこと・聞くこと」
「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域において、高い正答率でした。



【小学校 教科別の成果と課題】

小学校国語

「良好」な内容

- 目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けること
- 文の中における主語と述語との関係を捉えること
- 文の中における修飾と被修飾との関係を捉えること
- 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問をすること

「課題」となる内容

- 目的や意図に応じ、資料を使って話すこと
- 思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うこと

小学校算数

「良好」な内容

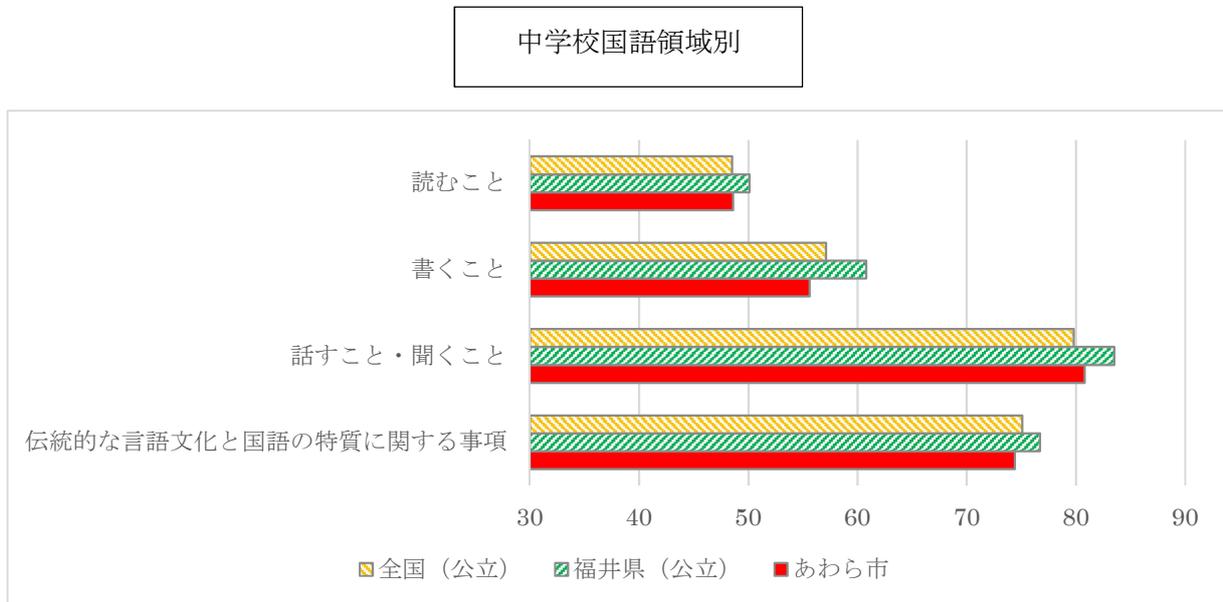
- 速さの意味や早さを求める式の意味についての理解
- 二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積を正しく求めること
- 30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけの説明

「課題」となる内容

- 午後1時35分から50分後の時刻について、長針と短針を正しく書くこと
- 直角三角形の面積を正しく求めること
- 二次元の表を正しく読み取ること
- 帯グラフから、割合の違いを正しく読み取ること
- 余りのある除法の商と余りを基に、質問にあった答えを導き出すこと

【中学校 概要】

国語の平均正答率は、全国や県の平均を下回りました。
特に、国語においては、下の図のように各領域で課題がみられました。
数学の平均正答率は、全国平均を上回りましたが、県平均を下回りました。
国語、数学ともに、基礎的・基本的な内容については、高い正答率でした。



【中学校 教科別の成果と課題】

中学校国語

「良好」な内容

- 質問の意図を捉えること
- 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解すること
- 伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くこと

「課題」となる内容

- 話合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えること
- 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くこと
- 場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解すること
- 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての理解

中学校数学

「良好」な内容

- 多項式の加減や数量の関係を一元一次方程式で表すこと
- 式の計算を利用して、数量の関係を説明すること

「課題」となる内容

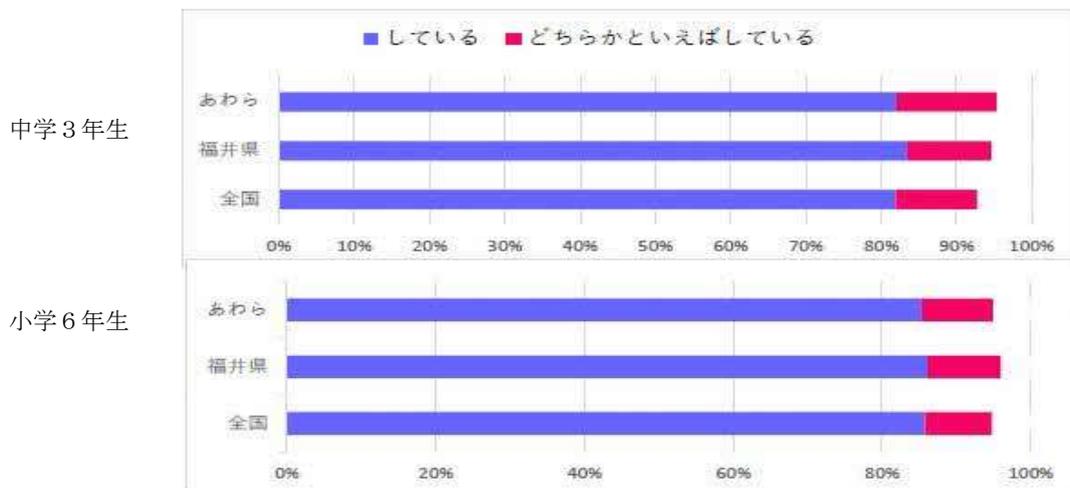
- 扇形の中心角の大きさと弧の長さの関係についての理解
- 関数関係にある2つの数量について、「…は…の関数である」という形で表現すること
- 文字を使って表された式から、その意味を読み取り、正しく説明すること
- 2つの度数分布多角形の特徴を比較して、正しく説明すること
- 重なり合う2つの図形の一方を平行移動させた時に、角の大きさについて、いつでもいえることを正しく書き出すこと

■児童生徒質問紙調査の結果から

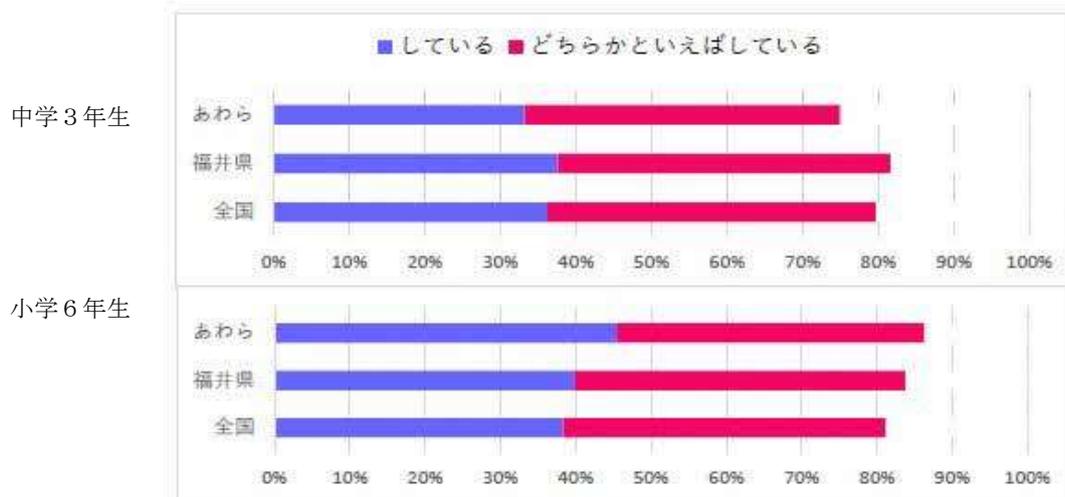
生活習慣

朝食を毎日食べて来るなど規則正しい生活を送っている児童生徒が多いようです。しかし中学生は、同じ時間に寝ている生徒の割合が低くなっています。

○朝食を毎日食べていますか。



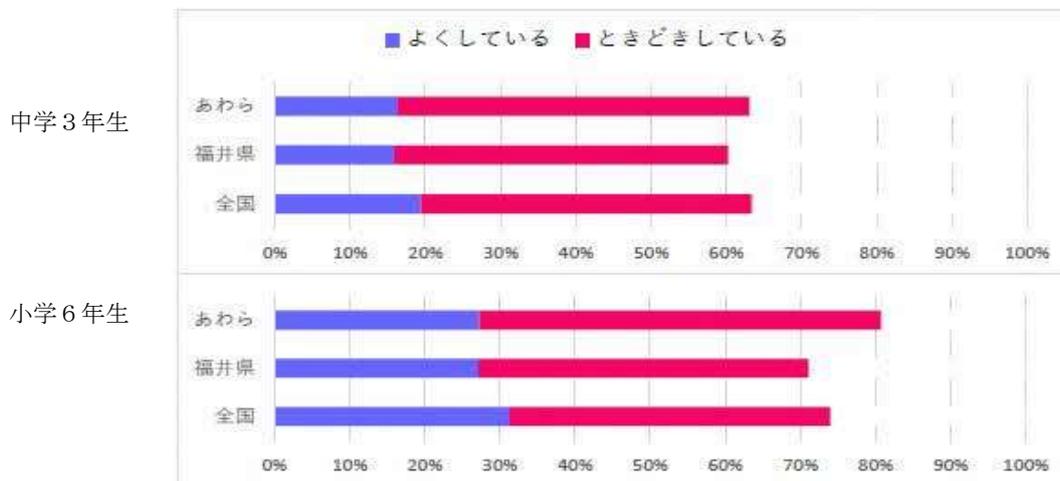
○毎日、同じ時間に寝ていますか。



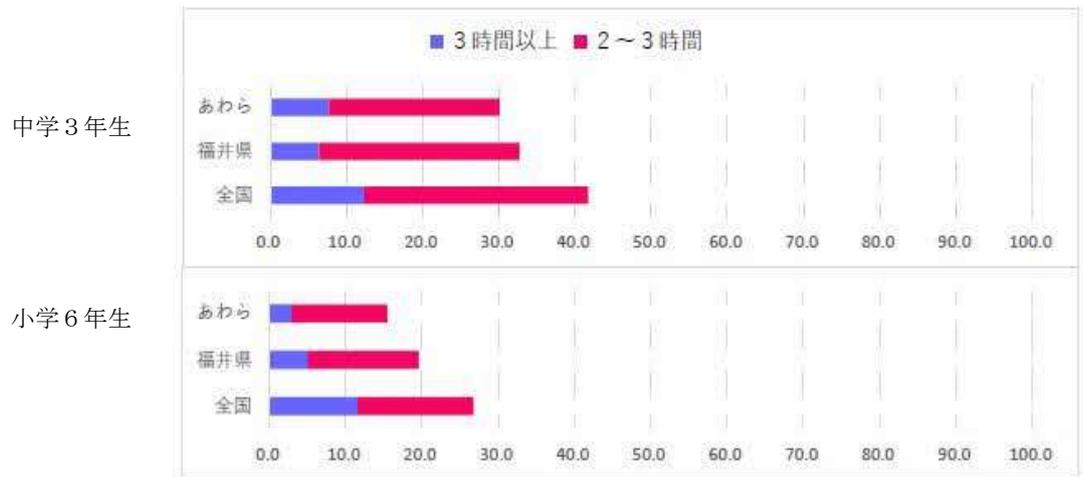
学習習慣

児童生徒ともに、自分で計画的に学習する習慣が概ね身についています。しかし、普段の授業以外での勉強時間が少なくなっています。児童の普段の読書時間も少ないようです。

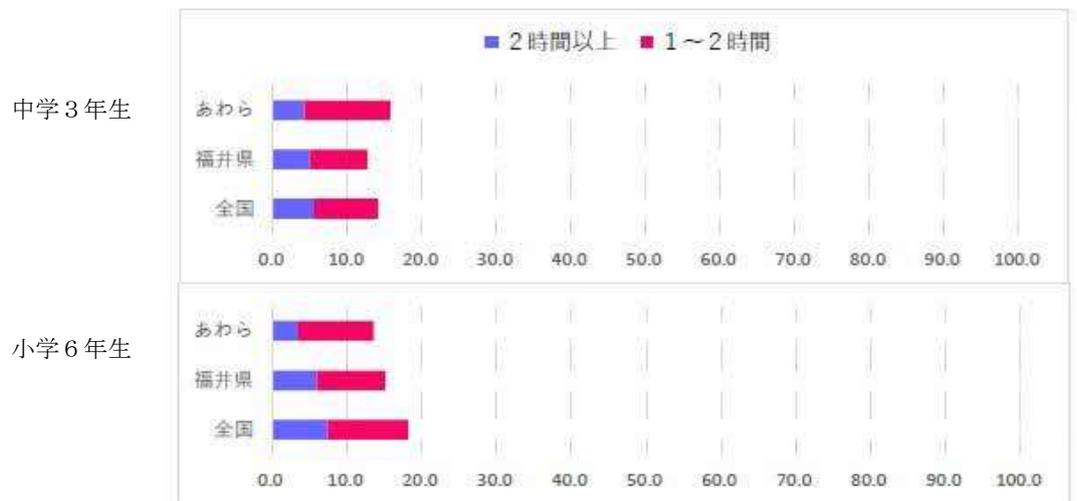
○家で、自分で計画をたてて勉強をしていますか。



○学校の授業以外に、普段、1日あたりどれくらい勉強をしますか。



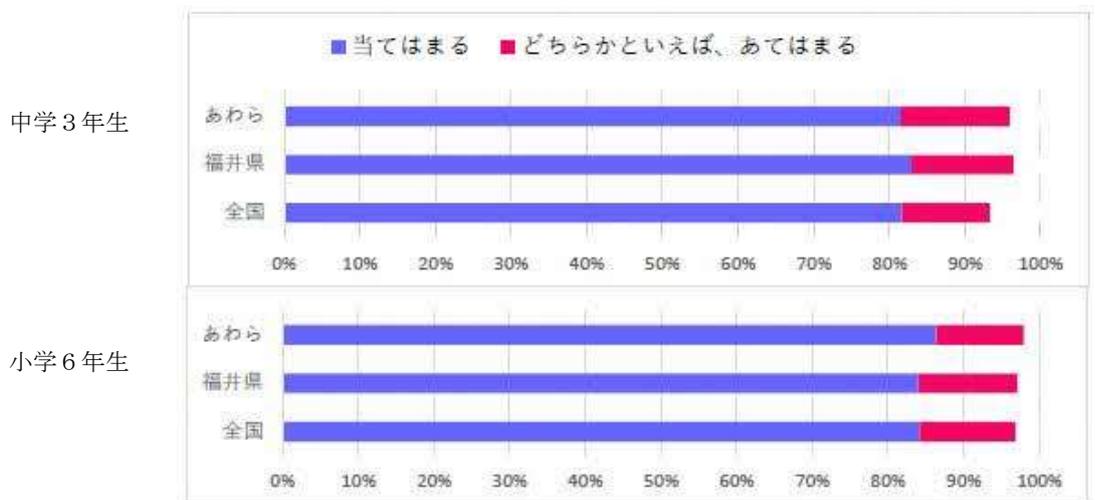
○学校の授業以外に、普段、1日あたりどれくらい読書をしますか。



規範意識

いじめはどんな理由があっても絶対にいけないことです。この質問にすべての児童生徒が肯定できていないことについて、今後、真剣に考えていかなければなりません。

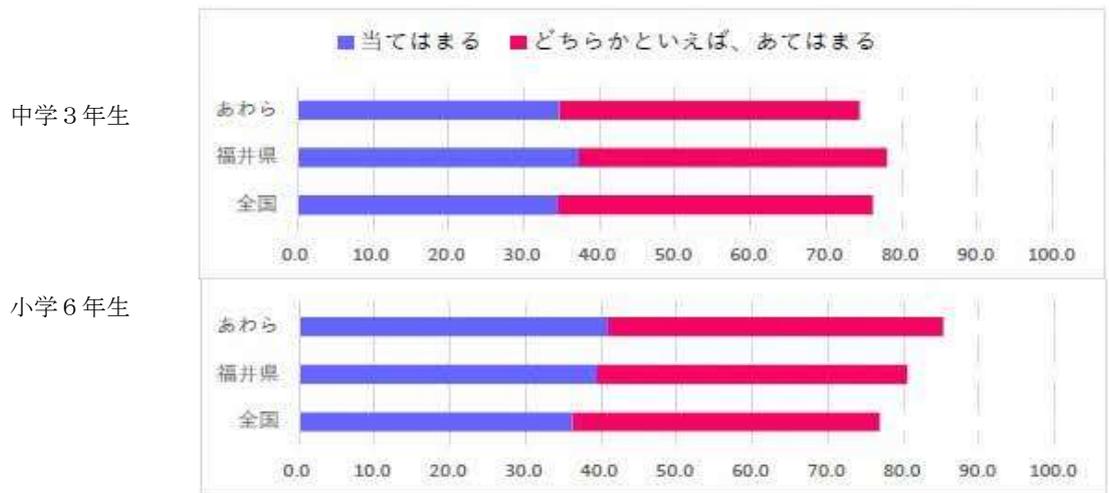
○いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか。



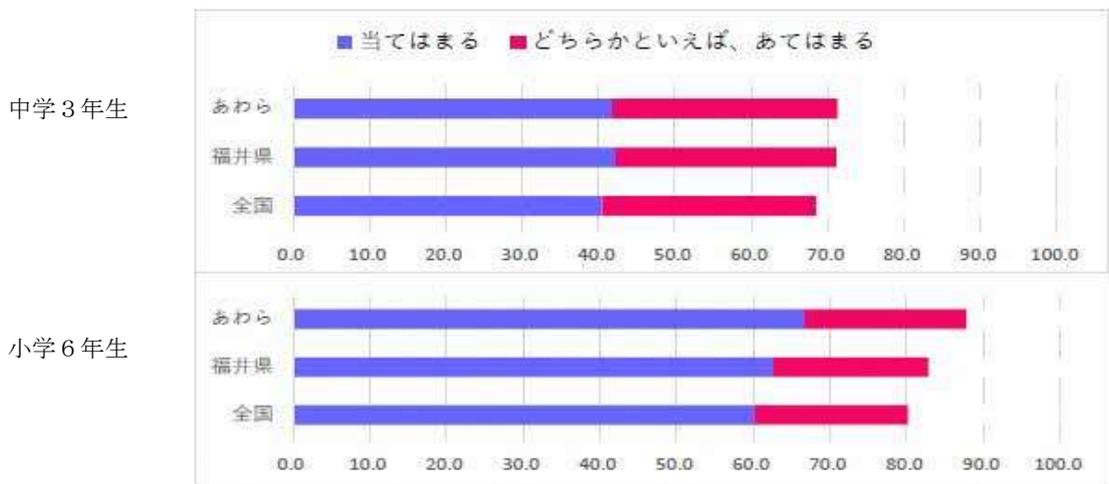
自尊感情

自分に良い所がある、将来の夢や目標を持っていると答えた児童の割合が高いです。一方、中学生になるとその割合が減少し、特に、自分に良い所があると答えた生徒の割合が、若干低いようです。人の役に立つ人間になりたいと思っている児童生徒は9割を超えています。

○自分には、よいところがあると思いますか。



○将来の夢や目標を持っていますか。



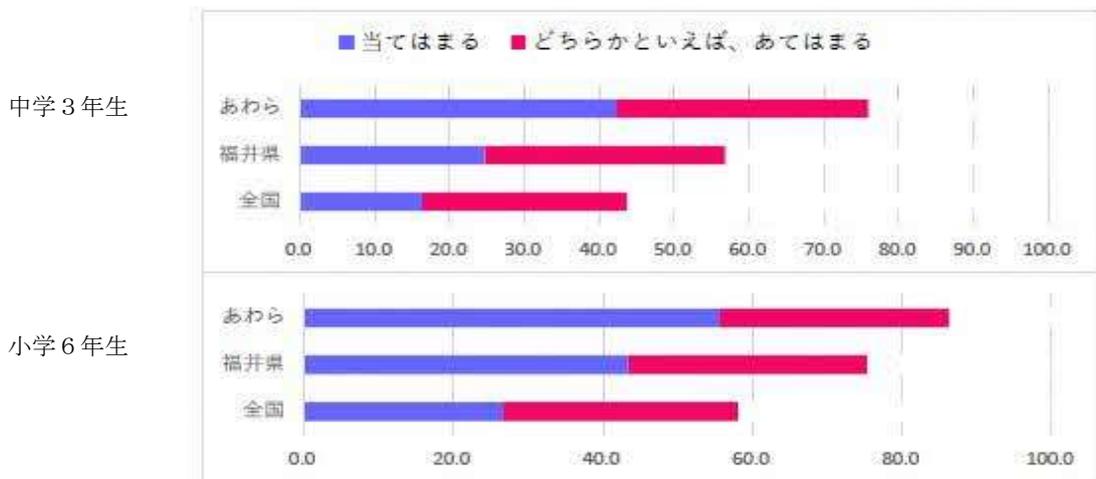
○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



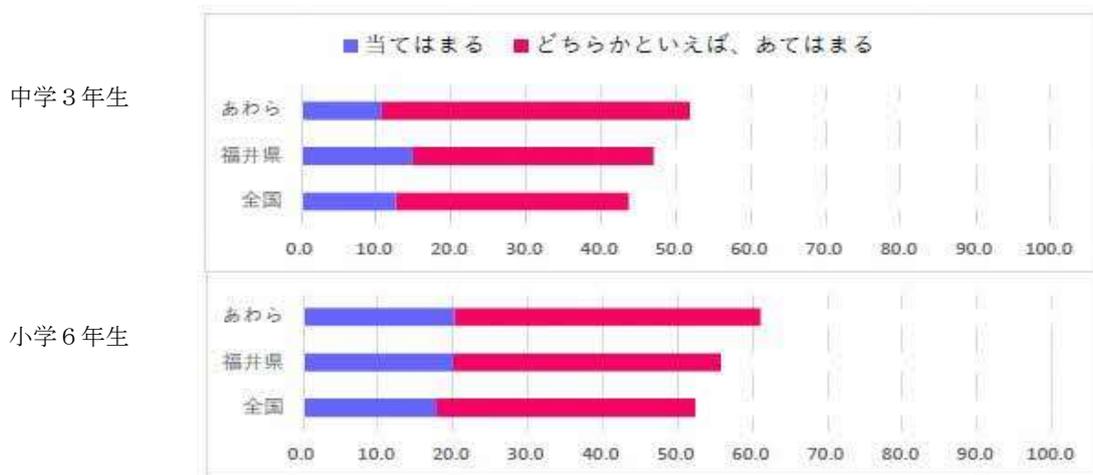
社会性

児童生徒は地域の行事に積極的に参加しています。地域のために貢献したいという意欲も高まっています。

○今住んでいる地域の行事に参加していますか。



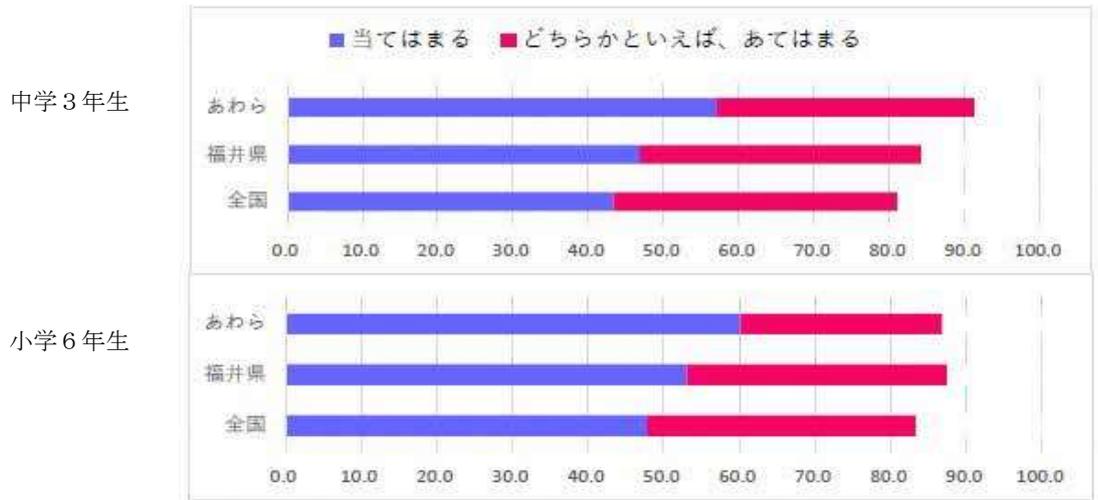
○地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがありますか。



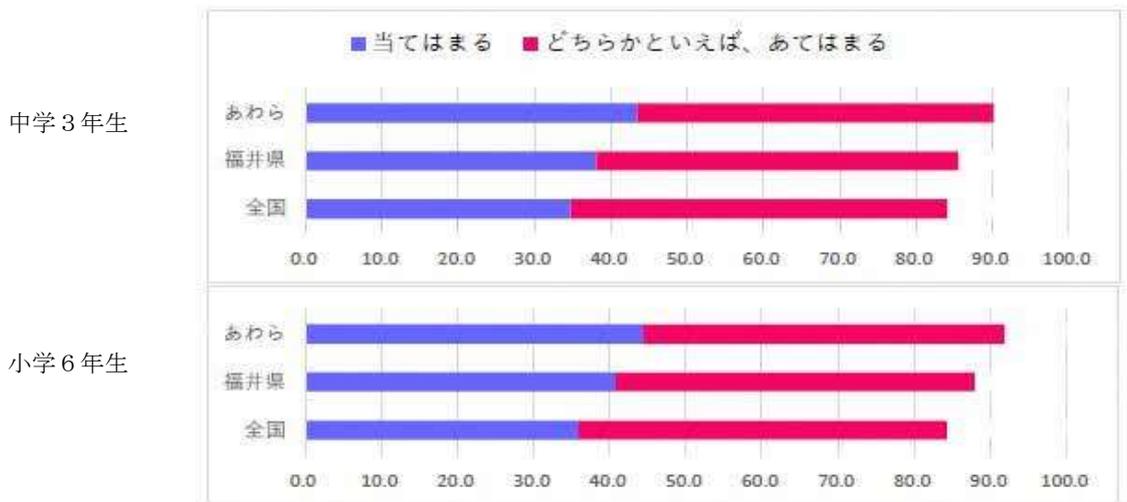
その他

学校が楽しいと感じる児童生徒の割合が高いです。また、自分で決めたことをやり遂げたり、失敗を恐れずに挑戦したりする児童生徒の割合も高いです。

○学校へ行くのが楽しいと思いますか。



○自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。



○難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。

